

# 共和薬品工業株式会社 溶出挙動の類似性及び溶出試験に関する資料

## クエチアピン錠 12.5mg 「アメル」

### 1. 溶出挙動の同等性

通知等	「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン等の一部改正について」及び「含量が異なる経口固形製剤の生物学的同等性試験ガイドライン」(平成18年11月24日付 薬食審査発第1124004号)
試験製剤	クエチアピン錠 12.5mg 「アメル」 LOT No.08H5-011-F1
標準製剤	クエチアピン錠 25mg 「アメル」 LOT No.08H1-011-F1
試験方法	日本薬局方 一般試験法溶出試験法パドル法
試験条件	試験液量：900mL、温度：37±0.5℃

#### <判定基準>

回転数	試験液	判定
50	pH1.2	試験製剤が15分以内に平均85%以上溶出する。
	pH4.0	
	pH6.8	
	水	
100	pH6.8	

#### <試験結果>

下記の通り、両剤の溶出挙動は同等であると判定された。

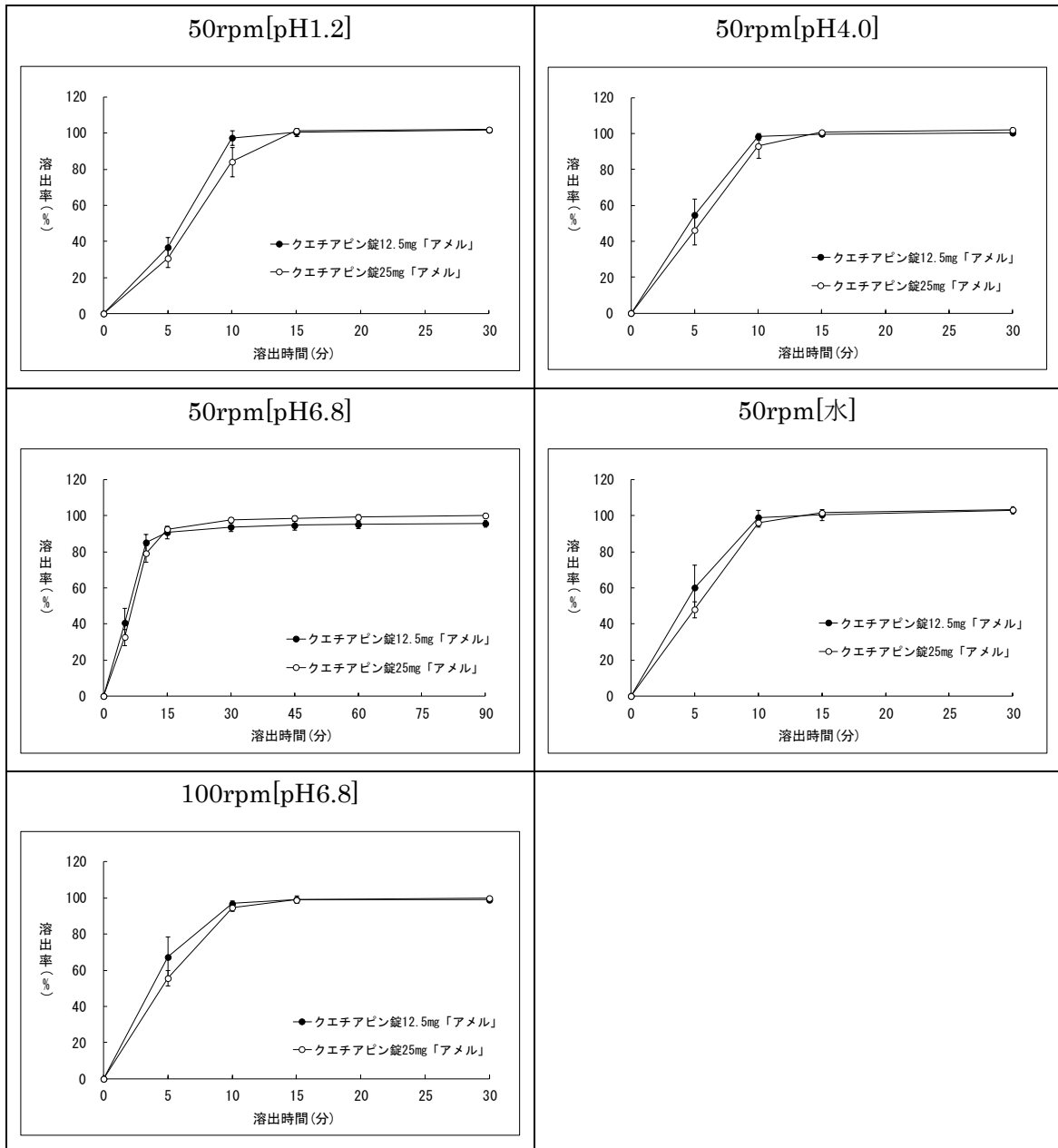
表1. 溶出挙動の同等性 判定結果

試験条件			判定基準		平均溶出率%			判定結果
試験方法	回転数	試験液	溶出率	判定時間	標準製剤	試験製剤	差	
パドル法	50rpm	pH1.2	85%以上	15分	101.2	100.4	—	適合
		pH4.0	85%以上	15分	100.7	99.8	—	適合
		pH6.8	85%以上	15分	92.5	90.7	—	適合
		水	85%以上	15分	101.5	100.5	—	適合
	100rpm	pH6.8	85%以上	15分	99.0	99.3	—	適合

表 2. 溶出挙動の同等性の判定 (個々の溶出率)

回転数	試験液	判定時点 (分)	試験製剤		差 (%)	判定基準	判定
			平均 溶出率(%)	個々の 溶出率(%)			
50rpm	pH1.2	15	100.4	99.2	-1.2	個々の溶出率が ±15%を超えるもの：1個以下 ±25%を超えるもの：0個	適
				95.4	-5.0		
				100.2	-0.2		
				100.3	-0.1		
				97.6	-2.8		
				102.0	1.6		
				102.5	2.1		
				101.4	1.0		
				102.2	1.8		
				101.4	1.0		
				100.9	0.5		
101.2	0.8						
50rpm	pH4.0	15	99.8	101.1	1.3	個々の溶出率が ±15%を超えるもの：1個以下 ±25%を超えるもの：0個	適
				98.6	-1.2		
				98.4	-1.4		
				99.3	-0.5		
				99.1	-0.7		
				100.0	0.2		
				101.9	2.1		
				98.3	-1.5		
				101.1	1.3		
				100.8	1.0		
				100.2	0.4		
99.3	-0.5						
50rpm	pH6.8	15	90.7	90.3	-0.4	個々の溶出率が ±15%を超えるもの：1個以下 ±25%を超えるもの：0個	適
				82.1	-8.6		
				91.2	0.5		
				89.8	-0.9		
				90.0	-0.7		
				90.8	0.1		
				89.1	-1.6		
				90.5	-0.2		
				93.1	2.4		
				92.1	1.4		
				93.1	2.4		
96.8	6.1						
50rpm	水	15	100.5	93.2	-7.3	個々の溶出率が ±15%を超えるもの：1個以下 ±25%を超えるもの：0個	適
				102.0	1.5		
				102.4	1.9		
				101.2	0.7		
				102.3	1.8		
				101.8	1.3		
				99.0	-1.5		
				102.2	1.7		
				103.4	2.9		
				102.7	2.2		
				99.0	-1.5		
97.1	-3.4						

100rpm	pH6.8	15	99.3	97.6	-1.7	個々の溶出率が ±15%を超えるもの：1個以下 ±25%を超えるもの：0個	適
				99.5	0.2		
				98.3	-1.0		
				97.7	-1.6		
				98.2	-1.1		
				96.6	-2.7		
				98.8	-0.5		
				100.5	1.2		
				99.3	0.0		
				99.8	0.5		
				102.0	2.7		
				103.0	3.7		



(Mean ± S.D., n = 12)

図 1. 溶出曲線

## 2. 溶出挙動の類似性<参考：先発医薬品との比較>

通知等	「後発医薬品の生物学的同等性試験ガイドライン等の一部改正について（平成 18 年 11 月 24 日付 薬食審査発第 1124004 号）」
試験製剤	クエチアピン錠 12.5mg 「アメル」 LOT No.08H5-011-F1 (共和薬品工業(株)製造)
標準製剤	セロクエル 25mg 錠 LOT No.B025F01 (アステラス製薬(株)製造)
試験方法	日本薬局方 一般試験法溶出試験法パドル法
試験条件	試験液量：900mL、温度：37±0.5℃

### <判定基準>

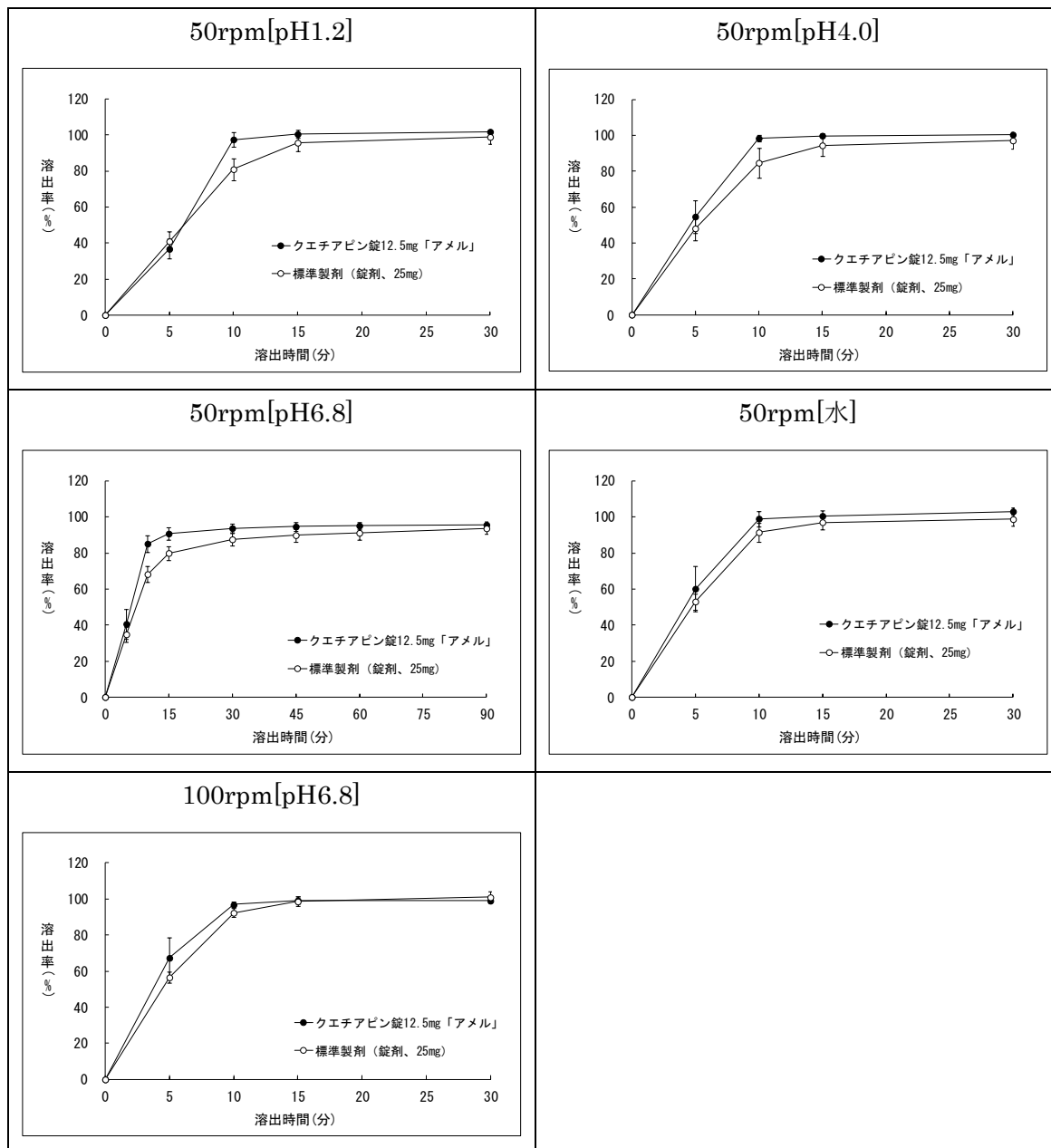
回転数	試験液	判定
50	pH1.2	試験製剤が 15 分以内に平均 85%以上溶出する。
	pH4.0	
	pH6.8	f2 関数の値が 42 以上である。
	水	試験製剤が 15 分以内に平均 85%以上溶出する。
100	pH6.8	

### <試験結果>

下記の通り、両剤の溶出挙動は類似していると判定された。

表 3. 溶出挙動の類似性 判定結果

試験条件		判定基準		平均溶出率%			判定結果	
試験方法	回転数	試験液	f2値又は溶出率	判定時間	標準製剤	試験製剤		f2値
パドル法	50rpm	pH1.2	85%以上	15分	95.6	100.4	—	適合
		pH4.0	85%以上	15分	94.4	99.8	—	適合
		pH6.8	f2 値： 42 以上	15分	79.9	90.7	55	適合
				30分	87.5	93.7		
				45分	89.8	94.6		
	水	85%以上	15分	97.0	100.5	—	適合	
	100rpm	pH6.8	85%以上	15分	98.7	99.3	—	適合



(Mean ± S.D., n = 12)

図 2. 溶出曲線

### 3. 溶出試験（公的溶出規格）

日本薬局方医薬品各条に定められたクエチアピソフマル酸塩錠の溶出規格に適合していることが確認されている。

表示量	回転数	試験液	規定時間	溶出率
12.5mg	50rpm	水	30分間	75%以上